

メデイカルカフェ2周年

26日に記念講演会

宇都宮

がんなどの悩みを抱える患者や家族、医師、看護師らがお茶を飲みながら語り合う「まちなかメデイカルカフェin宇都宮」の発足2周年記念講演会が26日、宇都宮市の「下野新聞NEWS CAFE（ニュースカフェ）」で開かれる。

午前10時半からの講演会では、医師資格を持つ鹿沼市の薬王寺の倉松俊弘住職（59）が、「今を生きる」と題して語る。倉松住職は自治医大に勤務時代、主に先天性心疾患の診断や治療を研究。現在、県立がんセンター臨床研究審査委員会委員などを務めている。

講演に先立ち、午前10時

から宇都宮市在住の横笛奏者狩野嘉宏さんがミニ演奏会を開催する。

定例のメデイカルカフェは正午～午後1時に行う。

カフェは県内の医師や看護師、臨床心理士らでつくる「がんカフェとちぎ」が、

2013年4月から原則第4日曜日午前、ニュースカフェで開催し、2年間で延べ約320人が参加した。

2年目に入ってリピーターの姿が目立ち、がん経験者同士で相談し、支え合う「ピアサポート」が増えているという。

事務局の市川明さん（あき）は「病院では話しづらいこともあるはず。気軽に訪

れてもらえれば」と話している。

無料。定員50人。事前予約や問い合わせは、がんカ

フェ事務局電話028・635・7549、またはメール gancafetochigi@gmail.com ail.com

（田崎智亮）